



学校テーマ 『喝采が響きあい、地域に愛される法勝寺中学校』

法勝寺中学校だより

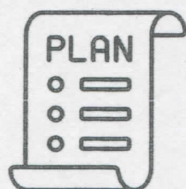
No.4 R7.7.15 発行(文責：角田)

夏休みの過ごし方を子どもと一緒に考えてみられませんか

いよいよ7月18日の1学期終業式をもって、長い夏休みに突入します。保護者の皆さまにとって、子どもたちが自宅で過ごす時間が増えるため、どのように過ごさせるか悩まれることが多いのではないのでしょうか。

今回は子どもたちが有意義に夏休みを過ごせるように1つアイデアを書いてみます。ご参考になれば幸いです。

【夏休みの計画を一緒に立てる】



夏休みの計画を子どもたちと一緒に立ててみるのはいかがでしょうか。自由な時間が多いからこそ、どのように過ごすかをある程度決めていかれることで、時間の使い方にメリハリがつきます。中学生ですから、ある程度子どもに最初に計画を立てさせてみて、出来た計画を基に話し合ってみてください。

例えば、「午前中は部活やクラブでの活動を行う」、「午後は宿題と1学期の復習をする」、「夕方は夏休みのようにある程度自由に使える時間がしっかりとれるこの機会に、普段できないことにチャレンジする」、「1日1回は家事を手伝う」など、ある程度のスケジュールを子どもさんと保護者の皆さまの納得がいく形で作成してみてください。一緒に決めたことで、スケジュール管理にも自分で責任をもてるようになりますし、こちらもあり、がみがみ言わなくてもよくなります。長い夏休みお互いに気持ちよく生活できるようにご検討いただければ幸いです。

我らが法中プライドを見せる時

7月10日(木)に県総体・県吹奏楽コンクールの壮行会を行いました。各部の代表がそれぞれの意気込みを力強い言葉で語ってくれました。また、校長先生の激励の言葉の中に「以前別の中学校に勤務していた時、顧問をしているバスケットボールの試合である中学校と対戦することになった。試合は校長先生率いるチームが100点以上をとる一方的な展開となった。ただ、その時に点差をつけられているにも関わらず、一生懸命顔を上げてプレーしていた学校が法勝寺中学校だった。」と話されました。その時の選手たちの凛とした表情から『法中プライド』という言葉が生まれたとのことでした。

7月12日(土)より県総体が始まったのですが、試合中劣勢にも関わらず、一生懸命声を出し、他の選手を鼓舞している生徒の姿を目の当たりにしました。その姿こそまさに法中プライドを体現している姿そのものでした。今年度は競技によって、日にちがずれているため、まだ県総体は続きます。そして県吹奏楽コンクールも控えています。勝つこと・良い結果を出すことを目標に取り組んできたとは思いますが是非胸には法中プライドをもって、試合・コンクールに臨んでください。皆さんの活躍を期待しています。

法中 PRIDE